

緑のセンターだより

No.272 令和3年11月1日発行

発行元：(公財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

カキノキ カキノキ科カキノキ属 *Dispyros kaki* Thunb.

カキノキはカキノキ科カキノキ属の落葉樹で、中国の揚子江沿岸に自生していたものが日本に渡来したと考えられています。日本では平安時代の文献に干し柿の名前が出てきます。野生種は雌雄異株ですが、進化したものは雌雄同株、または雌花だけを付けます（富有柿など）。雄花は壺状の花が2~3花集まって咲き、雌花は1つずつ単独で咲きます。

果実（柿）は、成熟すると渋が抜ける甘柿と渋が抜けない渋柿があります。渋柿も熟柿（ジュクツ）になると甘くなります。甘柿は渋柿の突然変異として鎌倉時代に日本で出現しました。甘柿には種子が3~4個以上入らないと渋みが残る不完全甘柿と必ず甘くなる完全甘柿があります。渋みの素はタンニンで、タンニンが可溶性の間は渋みがありますが、不溶性になると渋みを感じなくなります。寒い地方では甘柿が成熟しても甘くなることはありません。

日本では主に甘味料用として家の周りに必ず数本植えられていました。現在では家庭で干し柿を作る家も少くなり、冬寒く、寒風が吹きつける寒冷地で販売用として生産されています。干し柿の他に渋抜きには湯抜、アルコールによる樽抜、二酸化炭素による渋抜きなどいろいろな方法があります。

渋柿はまた、柿渋を抽出して防腐用、防水用の塗料として用いられています。柿渋用の樹としてアブラガキ (*D. oleifera* Cheng) やマメガキ (*D. lotus* L.) があります。カキノキの材は堅く、材にタンニンが含まれていることからだんだんと黒くなり、木目が綺麗に出てくることから観賞価値も高く高級家具（茶箪笥など）にも使用されています。

柿の木は日本各地に1000種以上の品種があったと云われています。果物としてのみならず、薬用、甘味料、防腐防水用等、用材として日本人の生活に深く関わってきた特別な果樹といえるでしょう。更に云えば、日本の農山村の原風景を作り出した果樹ともいえるでしょう。稻刈りの終わった民家の庭先に柿の赤い実が残る風景は日本の晩秋を彩る風物詩として郷愁を誘います。

参考文献 週刊朝日百科世界の植物 朝日新聞社

園芸植物大辞典

小学館

カキの雄花



「柿食へば鐘が鳴るなり法隆寺」

正岡 子規

11月の園芸作業

ここに記載した以外の作業も沢山ありますので
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問合せください。

緑の相談受付 10:00~12:00 13:00~16:00

★豊平公園 811-9370 月曜以外毎日

(月祝日の場合は、翌平日が休み)

★百合が原公園 772-3511 毎週 木、日 (冬期間なし)

★平岡樹芸センター 883-2891 每週 水、土 (冬期間なし)

| | | 作業時期 | 作業内容 |
|------|------|--------------|---|
| | | 上旬 中旬 下旬 | |
| 屋外園芸 | 庭木 | 冬囲い | 高木（イチイ・マツ類）は雪吊り、低木は雪折れ防止の冬囲い 冬囲いの防風ネット・コモ等の合わせ面は南側にしておくと良い。 |
| | 果樹 | 剪定 | ブドウは落葉後に剪定（落葉の10日後程度を目安に） |
| | | 冬囲い | 低木果樹は雪折れ防止の冬囲い |
| | 花木 | 剪定・冬囲い | バラは冬囲いのできる高さに剪定。フジ・ボタン・ボケなどは花芽が残るように剪定 耐寒性が弱くない花木（ボタン・サツキ等）は防風ネットやコモ掛けも行う。 |
| | 野菜 | 菜園片付け | 野菜の茎葉残滓と手竹等の清掃・整理 |
| | | 来年準備 | 来春への準備。堆肥散布・剣先スコップ等で耕起反転 |
| | 花壇 | 球根植 | 植え遅れたチューリップ・スイセン等の植え付け |
| | | 植替え | ユリの球根は2~3年毎に植替え。時期は霜の後 |
| 室内園芸 | 芝生 | 清掃 | 芝生の上に落ちた枯葉やゴミの清掃 |
| | | 防除 | 根雪前に殺菌剤を散布し、雪腐れ防除 |
| | 鉢花 | 置き場所 | 窓際の明るい場所で管理。窓からの冷気に注意 |
| | | 温度管理 | シクラメンの温度管理に注意する。日中20°C前後、夜間12~15°C程度 |
| | | 短日処理 | 12月の開花に向け、ポインセチアの短日処理を継続。 |
| | 洋ラン | 置き場所 | シンビジュムは10~20°Cの明るい室内で管理し、基本5°C以上を保つ。 |
| | | 病害虫 | アブラムシ、カイガラムシなど害虫に注意 |
| | 多肉植物 | 管 理 | 多肉植物、サボテン冬型種以外は休眠期（春まで断水） |
| | | 短日処理 | シャコバサボテン・カラソコエは短日処理の継続 |
| | 観葉植物 | 整枝・剪定 | 伸びすぎた枝・ツルを適当な長さに剪定 |
| | | 繁 殖 | 剪定枝を利用した挿し木（適期では無いが可能） |



Q プランターの土は来年も使えますか？

A プランター用土、鉢土の再利用の方法

- 今年使用した土は透明なビニール袋に入れて来年の初夏まで保存し盛夏に処理を施し再来年に使用します。

土の殺菌・殺虫：来年の初夏、土が湿る程度の水分を加え、袋に入れた状態で日向に置き、2週間したら
袋の上下を変えてさらに2週間日向に置きます。袋の中は50~70°Cになります。

腐葉土の補給：消毒した土は腐葉土を2割ほど加えて再来年春まで保存し、その後使用します。

- 来年使用する土は新しい土を用意して使用します。

・プランター用土は2年目以降2セット用意し、栽培年（A）と消毒年（B）に分けて使用する（下図）

A プランターの土のサイクル



B プランターの土のサイクル



展示会・開花情報

(2021年11月～12月)



〒062-0905
豊平区豊平5条13丁目
TEL 011-811-6568
地下鉄東豊線
「豊平公園」駅下車
1番出口徒歩1分

展示会がめじろおし

冬の室内を彩る
「シクラメン展」
例年約100鉢を
展示販売します。



受付では豊平公園で採れた
木の実セットやフジづるの
リースベースをお手頃価格で
販売しています。

展示会情報

洋ラン展

11/9 (火)～11/14 (日)

シクラメン展

11/16 (火)～11/21 (日)

ハンドメイド・クリスマス展

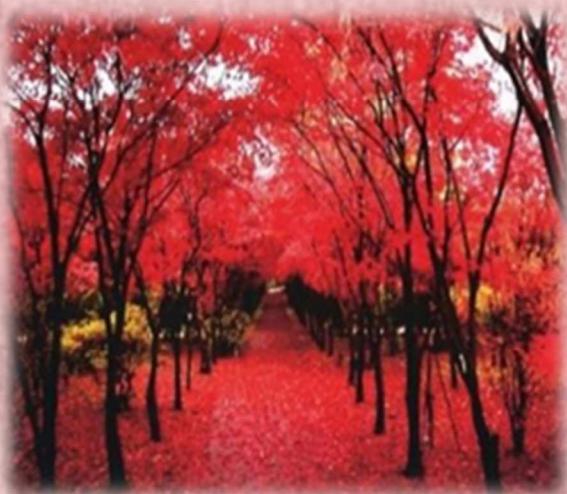
11/30 (火)～12/19 (日)

OPENは11/7まで



004-0874
清田区平岡4条3丁目
TEL. 011-883-2891
地下鉄東西線
「大谷地駅」から
中央バス（大69）
→「平岡4条2丁目」下車
徒歩1分

11月に入り樹芸センターの紅葉
はいっそう鮮やかさを増していき
ます。ノムラモミジ並木や西洋庭
園の紅葉をお楽しみください。また
紅葉シーズン中は移動販売車に
による軽食の販売もあります。



花開き、実は色づく

凛とした花姿が美し
いツバキやサザンカは
鉢物だけでなく、地植
えのものなども徐々に
開花を始めます。



百合が原公園

〒002-8082
北区百合が原公園210
TEL 011-772-3511
JR学園都市線
「百合が原」駅下車
徒歩7～10分



ウンシュウミカンや
カボスなどの柑橘系植
物は枝にたわわに実り
日々色づいていきます。

展示会情報

秋のサルビア展

～鮮やかな秋の装い～

開催中～11月7日 (日)

クリスマスディスプレイ展

～個性あふれる

ナチュラルリース～

11月9日 (火)～

12月12日 (日)

イベント情報（11月～12月）



豊平公園緑のセンター

☎ (011) 811-6568
<https://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

| 【園芸教室】 | 開催日 | 時間 | 教材費 | 定員 | 申込開始 |
|-----------------|-----------|--------|--------|-----|-----------|
| 洋ラン冬の管理 | 11月13日(土) | 13:30～ | 200円 | 20名 | 受付中 |
| シクラメン他冬の鉢花の室内管理 | 11月20日(土) | 13:30～ | 200円 | 20名 | 11/11(木)～ |
| 【クリスマスリース講習会】 | 開催日 | 時間 | 教材費 | 定員 | 申込開始 |
| ナチュラルリースを作ろう | 11月28日(日) | 13:30～ | 2,000円 | 10名 | 11/11(木)～ |



シクラメン他 冬の鉢花の室内管理

この時期いろいろな品種が出まわる
シクラメン。ながく楽しむための室内
管理をこの機会にぜひ習得しませんか。

クリスマスリース講習会

毎年大人気の講習会。
豊平公園のフジづるのリースベースと
木の実やドライフラワーなどのお好きな具材を
選んでオリジナルのナチュラルリースをつくり
ます。

